

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入し夏祭り、地域の清掃等に参加している。近所からは農作物や花の差し入れを頂いている。「ミカン畑にきてミカン狩りをするかい」と声をかけてくれる方もいる。ベランダからは登下校の小学生が見られ、朝夕見守るうちに小さな友達ができ、その交流を楽しみにしている入居者もいる。地域への浸透の努力がやっと実りかけてきたと管理者は感じている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	奇数月に開催され今年も既に6回の開催が確認された。メンバーは家族、管理者・大家さんであり、今年より町内会長の参加も得て開催している。入退居、入居者の現状、職員の異動、行事内容、ボランティア、ホームのクラブ活動や外部評価の結果及び受審予定について報告されている。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	介護保険の改正等のために介護課を訪れ話を聞いている。今年、区の福祉課の呼びかけで天白区のグループホームを含む介護老人保健施設等のガイドマップ作成に携わった。行政に積極的に呼びかけ、ホーム、地域、行政の三位一体で解決できる体制づくりに期待したい。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	隔月で「ホット通信」を発行し、変化があればその都度家族に報告している。運営推進会議は家族会を兼ね開催している。家族はホーム来訪の折に率直に要望を伝えてくれる。その場で解決できることは管理者が家族と話し合い、解決策が取られ職員に周知している。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

昨年の外部評価を機に、新たにこの地域で生活する入居者の生活に即したホームの理念をつくりあげた。地域密着の努力が実り始め、近所との交流も次第に多くなった。隔月で「ホット通信」を発行し、入居者が家では見せないような笑顔の写真を家族からは好評を得ている。家族会を兼ねて運営推進会議を開催し今年も既に6回の開催が確認された。家族は足繁くホームを訪れそのたびに希望、要望を伝えてくれる。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。